

2019年12月度(第372回)ライフサイエンス分科会 【公開講座】

開催日時：2019年12月12日(木) 14:00～16:30

開催場所：日本図書館協会会館2階 研修室

参加人数：61名

記入者：あすか製薬 佐々木享子

サンメディア 前田亜寿香

内容：PubMed勉強会－MeSH2020年版と新PubMed－(公開講座)

大幅リニューアルを控えるPubMedについて、東京慈恵会医科大学 学術情報センターの阿部信一先生に説明していただいた。PubMedは多くの方が利用する医学文献データベースであり関心も高いことから、今回はINFOSTAの研修として通常の分科会を公開形式で開催し、OUG非会員の方も多数参加された。

大変お忙しい中、説明して頂いた阿部先生に心より感謝申し上げます。

1. MeSH タームの改訂について

MeSH2020年版の主な改訂点について解説していただいた。

・新設語は293語で例年より少ない。変更は92語、削除は5語

・Publication Type の追加

Randomized Controlled Trial, Veterinary (獣医学的ランダム化比較試験) が追加

・Publication Type の変更

Evaluation Studies (評価研究) → Evaluation Study

Government Document (政府文書) → Government Publication

Validation Studies (検証研究) → Validation Study

Webcasts → Webcast

・“As Topic”用語の追加

Fictional Works as Topic 空想小説(トピック)

Observational Studies, Veterinary as Topic 獣医学的観察研究(トピック)

Single-Case Studies as Topic 単一事例研究(トピック)

・“As Topic”用語の変更

Autobiography as Topic (自伝(トピック)) → Autobiographies as Topic

Bibliography as Topic (書誌(トピック)) → Bibliographies as Topic

Biography as Topic (伝記(トピック)) → Biographies as Topic

Duplicate Publication as Topic (二重投稿(トピック)) → Duplicate Publications as Topic

・“As Topic”用語の削除

Abstracting and Indexing as Topic (抄録作成と索引作成) → Abstracting and Indexing

Advertising as Topic (広報) → Advertising

・感染症の階層構造の変更

C1～C3 カテゴリーの階層関係が感染症として再構成

・ MeSH 特別プロジェクトによる変更（用語の新設）

食品関係、医療サービス関係、ヒト関係、精神医学・心理学関係、毒性関係の用語

2. PubMed リニューアルについて

PubMed は米国国立医学図書館（NLM）が作成する医学関連分野における代表的な文献データベースで、収録される新規文献データは出版社からの電子データと NIH の助成を受ける研究者からの電子データで構成される。

1966 年から 2016 年までの 50 年で各出版年の医学文献の収録件数は 7 倍に増加した。現在の利用スタイルはスマートフォンやタブレットでの利用が約 50%であることから、今回のリニューアルでは Mobile での利用を意識した使いやすくシンプルな構成になる予定である。

<リニューアル後の画面表示>

・ Best match（関連度順表示）

- 検索に用いたキーワードに最も適合する文献から順に表示
- 最新文献（Most recent）からの表示への並べ替えも可能

・ Snippets（スニペット）

- 抄録中から検索語に関連度が高そうな部分を抜き出して書誌情報の下に表示
- 検索に用いたキーワードが太文字で強調表示される

・ Abstracts 形式

- これまでと同様に抄録や“Similar articles”（類似文献）などが表示される
- “Full-text links” ボタンでは PMC や出版社サイト、リゾルバへのリンクボタンが表示され、“cite” ボタンでは引用するための書誌情報をコピーできる
- PMC の収録論文であれば論文中の図表も参照でき、本文へのリンクも表示される
- Abstract の下には“Similar articles”（類似文献）や“Cited by”（被引用文献）がデフォルトで表示される
- “Cited by” を使うことで PMC 収録誌に限定されるが被引用文献検索が可能
- PMC 収録論文であれば参考文献リストも表示され、PubMed へのリンク付きで関連文献を確認できる
- Publication Type や MeSH をクリックすると PubMed や MeSH が検索できる。MeSH の検索は現在の MeSH Database へリンクする
- 検索ボックス下に表示されているリンクボタンは、現在の PubMed の検索や出力オプションの設定とほぼ同じような利用が可能
- 検索ボックス下に表示されている Advanced ボタンをクリックすると、これまでの Advanced Search Builder がほぼ同じ要領で利用が可能

3. 新 PubMed（PubMed Labs）発表後の変更

- NLM では PubMed Labs の公開以後、利用者（主に米国市民）からのフィードバックを受け付けている。
- 新 PubMed のコンセプトとして、Mobile ファーストを掲げ、現 PubMed の機能をすべては移行せず、スリム化を図るとしているが、ニーズに応じた改良を続け、徐々に現在の PubMed と同じ機能を持ちつつある。
- 現時点で、LinkOut の打ち切りや検索結果の MEDLINE 形式の廃止など、関係する個々の継続性については引き続き確認と対応が必要。
- 2019 年 8 月現在わかっている変更によって、以下のような影響が考えられる。
 - 検索パターン A : Google 型への影響
 - ✓ 検索結果の表示順の初期設定が「新しい順」から「適合順」に変わることにより、Google などのサーチエンジン慣れしたモバイルユーザには便利になる
 - ✓ モバイルを意識したデザインや機能によりモバイルによる利用者が増加する
 - 検索パターン B : MeSH 活用型への影響
 - ✓ MeSH に関してはほとんど情報が無いので、2009 年の大改訂のときと同じく、MeSH Database や MeSH Browser はしばらく現在のまま放置されると思われる
- PubMed のトップ画面左下のリンクから自己学習用プログラムや最新の変更点などが確認できる。

3. 質疑応答

会場の参加者からの質問にお答えいただいた。

Q. フレーズでキーワードを入力した際のトランケーションが働かなくなるなど、

Automatic Term Mapping の仕様が変わると聞いた。何か情報はるか？

A. Automatic Term Mapping については基本的には変わらないと思うが、これから仕様が変更される可能性はある。

なおトランケーションについては現時点では「brain neoplasm*」で新 PubMed を検索すると、「brain AND neoplasm*」の AND 検索が実行される。旧 PubMed は Automatic Term Mapping が働かず、「brain neoplasm」や「brain neoplasms」などのすべての語尾変化のフレーズ検索が実行される。

Q. 図書館のホームページからのリンク先を、新 PubMed へ切り替えるタイミングはいつにしたらよいか？

A. 新 PubMed はこれからも仕様が変更される可能性があるため、私の所属先では旧 PubMed が完全にクローズされてから切り替える予定。

Q. たとえば下位語があるサブヘディング「diagnosis[sh]」で検索すると、新旧でヒット件数が異なる。ということは、新 PubMed はまだ開発段階と捉えてよいのか？

A. PubMed 自体がそもそも実験的に公開されている要素があり、仕様は変わると NLM も

言っている。よって今後も変わる可能性はある。

Q.MeSH が改訂された場合、過去にさかのぼって再索引されるものと、されないものの基準はあるか？

A.バックメンテは行っている。機械的にできないものは再索引していない。

Q. 2019 年に systematic review[PT]が追加され、再索引もされた。 systematic review は Subset としてまだ残っているが、Publication type と Subset で使い分けするのか？

A.フィルターの Article types は Subset の systematic review を掛け合わせている。一般の人は検索結果は広めがいいと判断するのか、Subset をまだ残している。

Q.新 PubMed と旧 PubMed で、検索結果として返ってくるデータは同じもの？

A.検索しているデータは異なる。旧 PubMed は NLM のサーバ上のデータを検索している。新 PubMed はクラウド上のデータを検索している。データの更新は新旧どちらも行われているが、更新のタイミングが異なる可能性がある。

Q.ORCID での検索や、検索結果への表示は可能？

A.数は少ないが、検索は可能で、検索結果にも表示される。

Q.新 PubMed では、検索結果に表示された著者名をクリックすると、関連度順に表示されるが、これに ORCID も使われているのだろうか？

A.おそらくそうだと思う。(補足：会場の参加者からも、著者名の名寄せに ORCID を使用していると思われるという意見あり。)

※OUG ライフサイエンスの HP に本議事録と当日の資料の電子ファイルを掲載しています。

<https://www.infosta.or.jp/research/oug-life/>

その他、次回以降の予定など

次回 2020 年 1 月 16 日 (木)

内容：研究不正について／時実 象一 氏、医中誌 Web アップデート、SLA より最近の話題

以降 2020 年 2 月 20 日 (木) 未定 (2020 年度の予定を確認します)、3 月は休み

以上